



明治機械株式会社

2025年3月14日

各位

会社名 明治機械株式会社
代表者名 取締役社長 日根 年治
(コード番号 6334 東証スタンダード)
問合せ先 総務部長 高工 弘
T E L 03 - 5295 - 3511

自動開袋機納入によるSDGsへの貢献について

このたび、当社は、株式会社科学飼料研究所 日向工場様（宮崎県日向市大字日知屋字新開17371-1）の原料入荷・搬送設備におきまして、省人化・生産性向上に資する、自動開袋機の導入を行いましたのでお知らせいたします。

食・農を取り巻く業界では、労働力確保や、将来の食糧不足などの問題を解決するためSDGsへの取り組みが必須となっております。当社においても、食品業界で利用される機械の製造や、プラントエンジニアリング事業を通じ、持続可能な農業と食品業界の発展に貢献することを目標にしております。

本件の納入先である株式会社科学飼料研究所様は、JA全農グループの飼料メーカーで、プレミックス、人工乳・代用乳、養魚飼料、動物薬、原体加工などの製造を行っております。日向工場では、安全性や省人化の観点から、早い段階より自動化された製造工程の整備が進められておりましたが、原料投入の工程では人手を介した作業が行われており、将来を見据え自動化が重要課題となっております。

本件自動開袋機設置工事では、原料袋の開袋作業を自動化するだけでなく、原料袋の開袋機への搬送、空袋の圧縮など、一連の工程を自動化、省力化し、従業員の負担を軽減し、作業環境を改善する設備を施工しました。

当社の自動開袋機は処理能力が高く生産性向上にも寄与します。また今回、自動開袋機内の原料付着防止策として、当社初の試みとなる特殊なコーティングを施工しました。歩留まり改善や衛生管理のしやすさも期待されております。

本件自動開袋機の導入を通じ、SDGs目標8が掲げる経済成長とその担い手である労働者の働きがいにも貢献するものと確信しております。



(自動開袋機導入後の原料搬送の様子)

1. 設備概要

(1) 納入先企業名称	株式会社科学飼料研究所 日向工場
(2) 納入設備	自動開袋機 BoS1000型 空袋スクリュープレス 他搬送設備一式
(3) 設置工事開始年月	2025年2月
(4) 運転開始年月	2025年3月

2. 業績への影響

本件に係る売上・利益は、2024年11月27日に公表しました2025年3月期連結業績予想に織り込み済みであります。

以上